

予算委員会地方公聴会質問表

平成 20 年 2 月 20 日

自由民主党

猪口 邦子

問 1 昨年 12 月 7 日に政府・与党合意がなされた「道路特定財源の見直しについて」には、安全・安心の確保のため、今後 10 年間を見据えた道路の中期計画を策定するという趣旨の文言が盛り込まれているところである。

交通弱者への配慮の観点から、子どもやお年寄りが安心して安全に利用できる通学路・歩道の整備は急務であると考えますが、意見陳述人の見解如何。

問 2 茨城県教育委員会の策定した「いばらき教育プラン」をみると、県の教育の目標として、「ひとりひとりの能力を開発し、豊かな人間性を養う」とされているところである。

本年 1 月 17 日に文部科学大臣に答申された中央教育審議会答申には「外国語教育の充実」が盛り込まれ、この答申に基づいて学習指導要領の改訂作業が進められているところである。

昨今の急速に進む国際社会化への対応のためにも、子どもに早い段階から外国語教育、とりわけ英語教育がおこなわれることが望ましく、その際にはネイティブスピーカーを活用することが重要であると考えますが、意見陳述人の見解如何。

問 3 1971 年から 1974 年の第二次ベビーブーム以降、30 年の長きに渡って我が国の出生数及び合計特殊出生率は低下を続けており、少子高齢化社会への対応は、我が国の喫緊の最重要課題である。

少子化問題に対応するため、第三次小泉改造内閣において策定された「新しい少子化対策」に基づき、平成 19 年度から「放課後子どもプラン」が実現している。これは、放課後の子どもが安心して安全に過ごし、地域の大人たちから教育を受けることもできるものであり、その推進は重要であると考えます。茨城県における今年度の実施状況及び平成 20 年度予算における関係予算の取り扱い如何。